

みんなの声を市政に



古川静子 議員

桜川市子育て支援センターの取り組みの現状は

問 桜川市子育て支援センターの取り組みの現状について問う。

答 保健福祉部長 地域全体で子育てを支援する基盤形成を図り、子育て家庭に対する育児支援を行うことを目的として子育て支援センター事業を行っています。

事業内容は、①子育て親子の交流の場の提供と交流の促進、②子育て等に関する相談、援助の実施、③地域の子育て関連情報の提供、④子育て及び子育て支援に関する講習の実施、⑤その他子育て支援に関することであり、積極的に取り組んでいるところです。

問 市として、この事業の拡充についてどのように考えているのか問う。

答 保健福祉部長 事業内容の充実を図るため、子育て親子の交流の促進、子育て情報等の提供、地域ボランティアとの連携などを取り入れ、相談・指導を実施するとともに、利用率アップのため広報紙やホームページなどを通じて、利用の促進を図っていきたく考えています。

問 市長 今後の拡充については、推計児童人口や出生数、民間保育園の設置状況、利用状況、設置環境などを考慮し、前向きに対処していきたいと考えています。



子育て親子の交流と情報提供の場として



菊池節子 議員

イノシシ繁殖の一因 猟区の廃止を

問 県内にただ一つ残った猟区をも増してイノシシ被害が増えている。佐賀県武雄市ではイノシシ課をつくっている。参考にして、強力な対策をとってもらいたい。

答 市長 猟区は今年十月末で廃止する予定です。ワナ免許取得に補助金を検討したい。捕獲後の有効活用については、先進地域の調査をしたい。

問 今年、プラハでのオバマ米大統領の発言もあり、原水爆禁止運動は大きな盛り上がりを見せた。県内四十四市町村のうち三十三自治体が非核平和都市宣言をしている。桜川市もしてほしい。

答 市長 非核平和都市宣言は大切なことです。議会とも話し合い、前向きに検討します。



大勢のお客さんでにぎわう岩間駅前の日曜日

岩瀬「駅前市」を開催してはどうか

問 JR岩瀬駅前の整備が完成した。一つの活用方法として「駅前市」は、第二日曜日に実施されているが、とても盛大でにぎわっている。

答 市長 バザーの開催や、直売方式による物品の販売をしていただきたいと考えています。



風野和視 議員

ハード事業に関する財政状況は

問 箱物(ラスカ、シトラス)の目的に対する利用率について。また、その建設事業費と合併時及び現在の償還状況(借金)について伺う。

答 教育次長 ラスカ体育館は、スポーツ活動を中心とした施設として整備され、稼働率は一〇〇%で、利用者は一日平均二〇〇名です。シトラスは、文化と福祉の向上に寄与する施設として建設され、稼働率は六五%で、利用者は一日平均六十三名です。

問 総務部長 ラスカの建設事業費は二億二、〇四六万円で、合併時の未償還元金は四億五、四三〇万円でしたが、現在は残金がゼロです。

答 シトラスの建設事業費は一億四、八二四万円で、合併時の未償還元金は七億二七九万円でしたが、現在の残金は四億四、九〇三万円です。

問 今後のハード事業 多目的複合施設の一部見直しは



多目的複合施設建設予定地

問 陣屋跡に、よい施設ができることは容易に想像できるが、早期完成に逸る前に、一生涯その施設を生活環境の場(景観)として生活する人がいるわけなので、近隣住民の生活環境をもっと精査すべきではないか。

答 市長 この問題については、住民の方とよく話し合いながら事業を進めていきたいと考えています。



川那子秀雄 議員

岩瀬駅前の問題点について

問 補償費について伺いたい。

答 建設部長 関係者に対する補償は、合計で二億三、九三一万円で、三工区は一億四、七六七万円で全体割合の一%です。(他は省略)

問 副市長は市長を補佐し、指名委員長と土地開発公社理事長を兼務している。副市長はその権限を有し、補償問題を取り仕切ってきた。三工区は何件あったか分からないが、一四九番地に対して補償はどのようにしたのか。

答 副市長 個人の住所なので、個人の情報についても、私とその他の事業関係者についても申し上げるわけにはまいりません。

問 桜川市の土地購入は担保つきで買ってもよいのか。

答 市長 駅前の整備は、地権者の協力を得たもので、一点の曇りもありません。

答 副市長 当然、土地を売買するときは担保を外さないと売

問 補償の疑問がありますので、議会の権限で調べていただきます。

答 警察官立ち寄り所の必要はないか。

答 市民生活部長 岩瀬駅を利用していただきたき、防犯対策を進めてまいります。

- その他の質問
- ・益子線の延伸について
 - ・松田西小境線の推進について
 - ・庁舎建設について

